



古都っ子だより

2020年12月11日号
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子

二学期もがんばった! 古都っ子!!

たくさんの行事があった2学期も残すところあとわずかとなりました。今年、コロナウィルスの影響で、一学期に計画されていた行事が二学期に延期されたこともあり、例年になく多忙な二学期となりました。日帰りにはなりましたが、4年生は山の学校、5年生は海の学校、6年生は修学旅行に行ってきました。その他の学年も社会科見学等で校外学習にでかけました。また、10月10日には運動会。10月23日には陸上記録会があり、当日まで、高学年の児童は午後の練習に熱心に取り組みました。

そんな多くの行事を進める中、子どもたちは音楽の練習にも取り組み、11月7日、体育館で、学習発表会を実施することができました。ウィルス飛散防止のため、授業での歌唱指導を制限しているため、今年の発表は合奏のみとなりましたが、当日は、それまでのがんばりが伝わってくる、仲間と息のぴったり合った演奏を聴くことができました。

一人一人の子どもたちが、それぞれの得意なこと、苦手なことを乗り越えて、どの活動にも精一杯取り組んできたからこそその素晴らしい発表。保護者のみなさまからの拍手に、満足そうな笑顔で応える子どもたちの表情からは、子どもたちが、二学期のひとつひとつの行事を通して、自分の力で自分の道を切り拓いて生きていくための力を少しずつ身に付けてきているように感じました。

子どもたちを支えてくださった保護者のみなさまの温かいご支援と見守りに感謝申し上げます。また、日頃より、子どもたちの様々な活動にご支援とご協力を賜りました地域のみなさま、ありがとうございました。引き続き、3学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



交通安全教室 & 自転車条例施行

令和3年4月1日から



11月19日、全校児童が下学年と上学年に分かれて、交通安全教室を開きました。交通ルールやマナーの向上についてのお話でしたが、その中で「黄色信号は、急いで渡るのではなく、渡りません」ということをお話しされていました。急いでいると、ついつい大人もやっつけてしまいますが、子どものお手本となれるよう気をつけたいといけませんね。

その後、4年生は自転車教室も行いました。慣れていない自転車だったこともあり、自転車の操作に精一杯で安全確認が不十分な子もいたようです。

昨年、岡山県で起きた小学生の交通事故は74件(前年比-12件)で、負傷者は121名(前年比-24人)となっています。主な原因は、自転車運転時の交差点安全進行違反(12件)・安全不確認(10件)・一時不停止(6件)、歩行時の飛出し(7件)となっています。古都小学校の子どもたちが事故に遭わないよう、交通ルールを守ることの大切さを学んだこの日のことを心にとめて、安全な生活を送ってほしいと願っています。交通安全協会とPTA交通補導部のみなさまにはご協力いただき、ありがとうございました。



岡山市では、令和3年4月1日から「岡山市自転車の安全で適正な利用を促進するための条例」が施行されます。これによって、《子ども(小学生以下)のヘルメット着用》《自転車保険への加入》が義務化されます。自転車での死亡事故のうち、6割以上は頭部のケガによるものです。特に子どもは体に対して頭部が大きく、転倒時に頭部を打つリスクが高くなります。一人で自転車に乗る時だけでなく、幼児用座席に幼児を乗せるときも、ヘルメット着用が義務になります。

また、自転車事故でも、高額な損害賠償を求められる事例(平成25年7月、11歳男児が夜間に自転車で帰宅中、女性歩行者と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等で意識が戻らず、監督責任を負う保護者に、9,521万円の賠償命令が出ています)もあります。安心して自転車に乗れるよう、取り組みをお願いします。

